



## 菰野町ゼロカーボンシティ宣言

近年世界各所では、地球温暖化に起因する気候変動の影響による豪雨や猛暑などがもたらす自然災害が頻発しており、菰野町においても、局地的短時間豪雨などによって、災害がもたらされました。このような中、国は2050年までに、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

菰野町は、鈴鹿山脈の麓に位置し、町域の約4割を占める山並みが、鈴鹿国定公園に指定されており、鈴鹿山脈の主峰御在所岳には、国指定の天然記念物である「ニホンカモシカ」が生息し、また鎌ヶ岳には、県指定の天然記念物である「ブナ原始林」が広がります。

そのほか、国指定の天然記念物である「田光のシデコブシ及び湿地植物群落」を有し、春から夏にかけては、シロヤシオ、アカヤシオ、桜、アジサイなどの彩り鮮やかな花々を楽しむこともでき、秋には紅葉、冬は樹氷と、四季折々の自然を満喫できるなど、菰野町は、自然豊かな環境に恵まれています。

この素晴らしい、かけがえのない自然環境を未来に引き継いでいくために、地球温暖化問題が、私たち人間の活動に起因していることを町民一人ひとりが認識し、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの活用などにより、町民や事業者の皆さまと一体となって、2050年までに、二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、取り組むことを宣言します。

令和5年12月21日

菰野町長 諸岡高幸